

岩手県企業短期経済観測調査結果（2021年6月）

- 調査対象企業は、岩手県内に本社を置く資本金2千万円以上の65社
- 回答率98.5%（回答数64社、うち製造業25社、非製造業39社）
- 回答期間 5月27日～6月30日

1. 業況判断指数（DI）

業況判断指数（全産業）は、前回調査（3月）に比べ、「悪い」超幅が小幅に拡大した（前回▲4 → 今回▲5）。

業種別にみると、製造業は、原材料仕入価格の上昇や部品不足の生産への影響などから判断を引き下げる先がみられたことから、前回の「良い」超が解消した（前回4 → 今回0）。非製造業は、足もとでの工事案件の獲得・工事進捗等を映じて、「悪い」超幅が縮小した（前回▲11 → 今回▲8）。

先行きについて、製造業（今回0 → 先行き▲4）では、一部に堅調な財需要を見込んで判断を引き上げる向きがみられるものの、感染症の影響の先行き不透明感等を受けた判断引下げから、「悪い」超となる見通し。非製造業（今回▲8 → 先行き▲18）も、復興需要の減少や感染症の影響の先行き不透明感から判断を引き下げる先がみられ、全産業では「悪い」超幅が拡大する見通し（今回▲5 → 先行き▲12）。

— 各種判断DI（参考1）をみると、「製商品・サービス需給判断DI」は「供給超過」超幅が縮小した。「製商品在庫判断DI」は「過大」超幅が縮小した。「仕入価格判断DI」は、「上昇」超幅が拡大した。「販売価格判断DI」は、「上昇」超に転化した。「生産・営業用設備判断DI」は、製造業が「不足」超となり、全産業で「過剰」超幅が縮小した。「雇用人員判断DI」については、「不足」超幅が縮小した。

（「良い」－「悪い」）回答社数構成比、%ポイント、（ ）内は前回予測

	20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
製造業	▲19	▲61	▲54	▲16	4	0 (▲4)	▲4
素材業種	0	▲50	▲50	▲12	▲12	▲13 (▲50)	▲25
加工業種	▲28	▲66	▲56	▲17	11	6 (17)	5
非製造業	▲12	▲31	▲28	▲12	▲11	▲8 (▲25)	▲18
全産業	▲15	▲43	▲38	▲14	▲4	▲5 (▲17)	▲12

2. 売上高・経常利益（2020年度実績、2021年度計画）

2020年度については、製造業、非製造業とも、感染症の影響等から売上高が減少し、経常利益も減少する中、全産業で減収・減益となった。

2021年度については、製造業の一部で自動車、半導体、海外設備投資関連の需要回復を見込む先がみられるものの、全体としては、復興需要の減少や、感染症の影響の先行きが不透明であることなどを背景に、製造業、非製造業とも減収・減益の計画。この結果、全産業も減収・減益となる計画。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	2020年度(実績)		2021年度(計画)					
	売上高	経常利益	売上高			経常利益		
			年度	上期	下期	年度	上期	下期
製造業	▲7.2 (0.2)	▲16.5 (4.4)	▲10.8 (3.6)	1.2 (4.9)	▲20.0 (2.4)	▲6.9 (27.9)	利益 (2.2倍)	▲56.7 (▲3.7)
非製造業	▲9.9 (0.6)	▲43.1 (25.4)	▲4.6 (0.2)	▲4.8 (▲0.3)	▲4.4 (0.7)	▲20.5 (▲1.9)	▲17.3 (5.0倍)	▲21.0 (▲12.1)
全産業	▲8.8 (0.4)	▲28.7 (11.2)	▲7.3 (1.6)	▲2.3 (1.9)	▲11.5 (1.4)	▲11.9 (16.2)	利益 (2.3倍)	▲46.1 (▲7.6)

3. 設備投資額（2020年度実績、2021年度計画）

2020年度の設備投資（土地を含み、ソフトウェア・研究開発投資を含まない）は、製造業、非製造業とも、感染症の影響を眺めた案件先送り等から、前年度比▲3割方減少した。

2021年度については、製造業では、前年度からの先送り案件や半導体関連の能力増強投資等から前年度比大幅に増加する計画となっている。一方、非製造業では前年度並みに止まる計画。この結果、全産業では前年度比+3割方増加する計画。

—— 前年同期比・%、（ ）内は前回調査比修正率・%

	設備投資 ※		ソフトウェア・研究開発を含む 設備投資（除く土地）	
	2020年度 (実績)	2021年度 (計画)	2020年度 (実績)	2021年度 (計画)
製造業	▲27.4 (6.6)	53.4 (13.1)	▲24.1 (6.9)	54.5 (12.9)
非製造業	▲29.7 (1.4)	2.2 (▲8.9)	▲31.8 (2.3)	3.9 (▲8.4)
全産業	▲28.5 (4.2)	30.5 (4.3)	▲27.7 (4.8)	32.1 (4.4)

※ 土地を含み、ソフトウェア投資、研究開発投資を含まない。

(参考1) 各種判断DIの推移

— 回答社数構成比、%ポイント、()内は前回予測

(1)需給・在庫・価格判断DI (全産業ベース)

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
製商品・ サービス需給	「需要超過」 — 「供給超過」	▲17	▲37	▲34	▲23	▲22	▲13 (▲26)	▲18
製商品在庫	「過大」— 「不足」	12	27	17	4	17	13 (—)	—
仕入価格	「上昇」— 「下落」	13	6	6	8	21	25 (29)	31
販売価格		▲5	▲8	▲14	▲1	▲3	3 (▲2)	0

(2)生産・営業用設備判断DI (「過剰」—「不足」)

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業		4	15	16	8	0	▲12 (9)	0
非 製 造 業		▲2	7	10	5	10	10 (3)	8
全 産 業		0	10	12	6	7	1 (5)	5

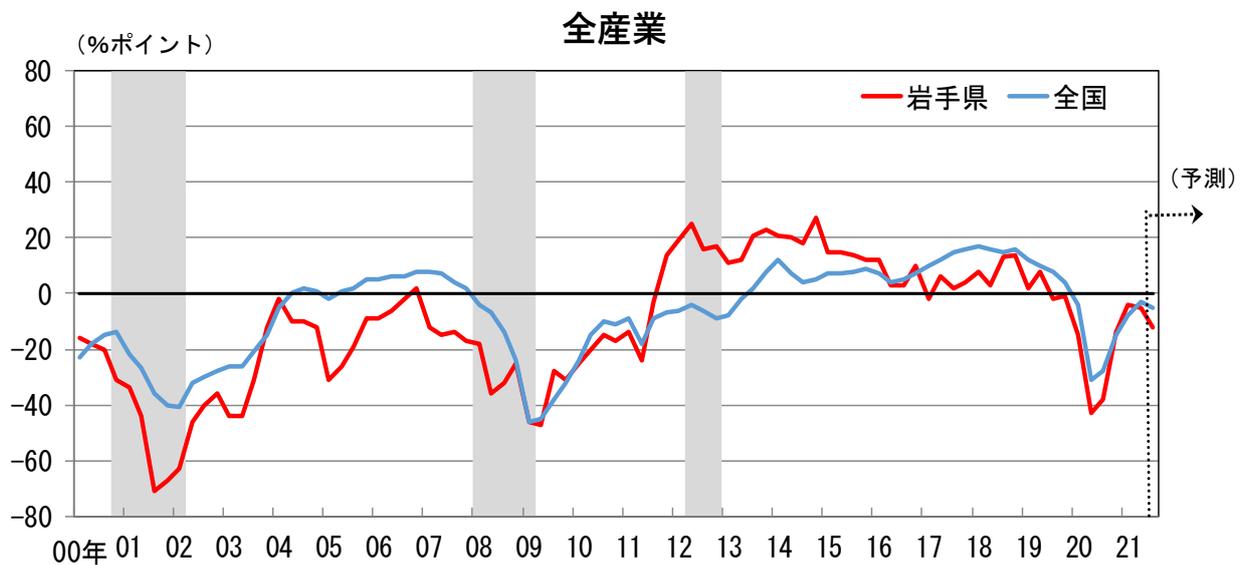
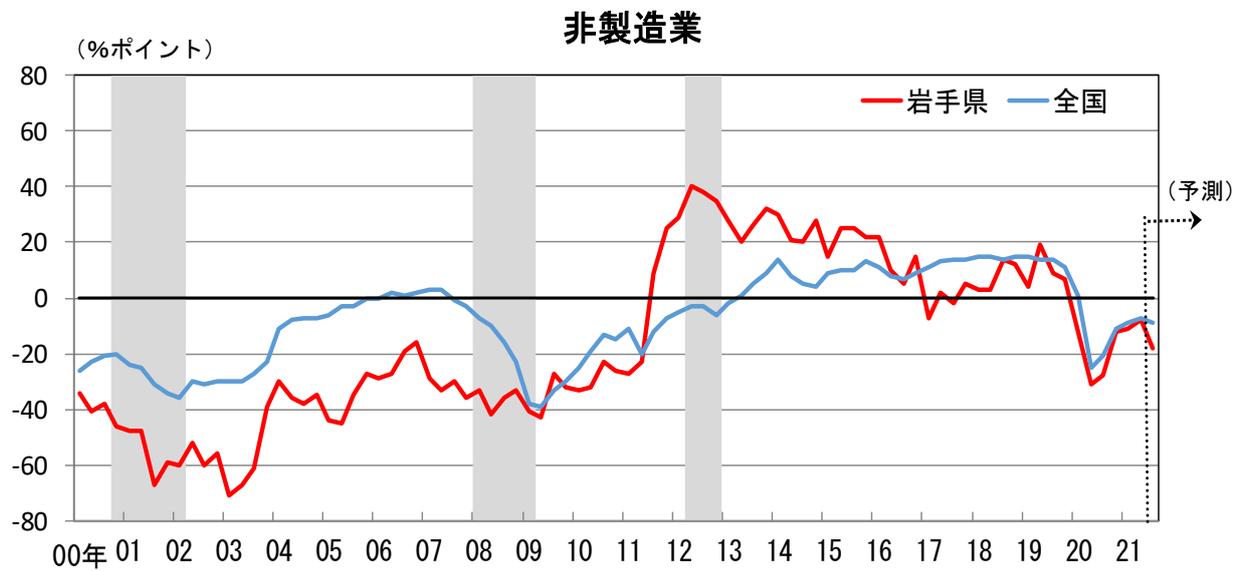
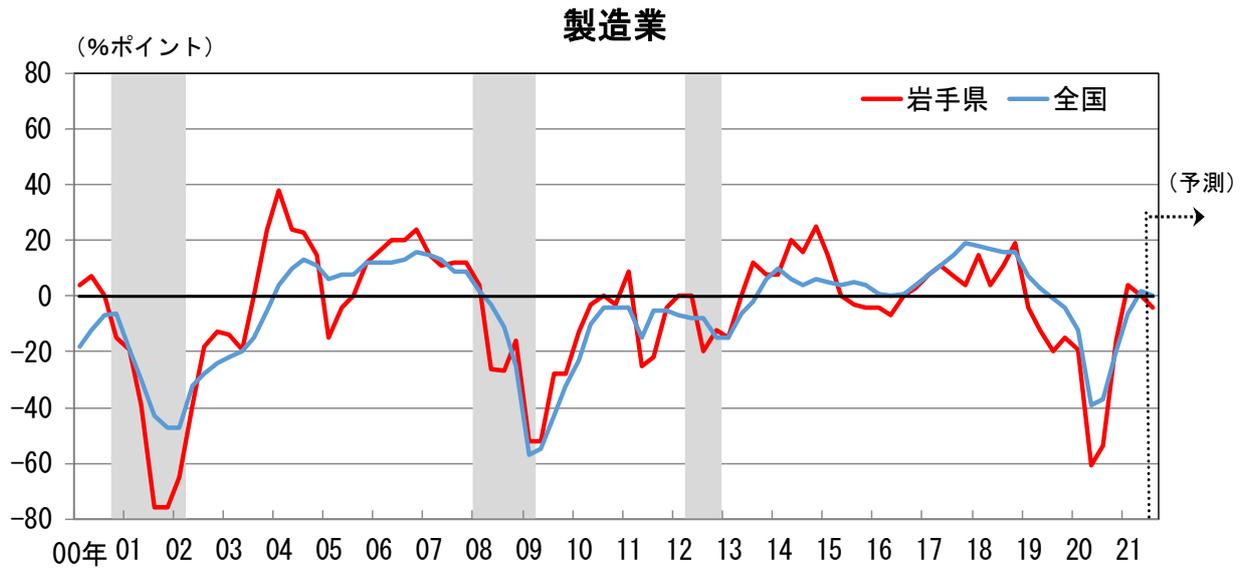
(3)雇用人員判断DI (「過剰」—「不足」)

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
製 造 業		▲3	11	15	8	▲8	▲16 (▲8)	▲8
非 製 造 業		▲42	▲15	▲13	▲23	▲21	▲13 (▲18)	▲18
全 産 業		▲26	▲5	▲2	▲11	▲16	▲14 (▲14)	▲14

(4)企業金融関連判断DI (全産業ベース)

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
資金繰り	「楽である」 — 「苦しい」	▲4	▲8	▲14	▲4	▲1	▲2 (—)	—
金融機関 貸出態度	「緩い」— 「厳しい」	7	13	14	14	18	13 (—)	—
借入金利 水準	「上昇」— 「低下」	3	▲5	▲3	0	▲8	▲3 (▲5)	▲1

(参考2) 岩手県の業況判断DIの推移



(参考3) 全国及び岩手県の業況判断 DI の推移

() 内は前回予測

		20/3月	6月	9月	12月	21/3月	6月	9月 (予測)
製造業	全国	▲12	▲39	▲37	▲20	▲6	2 (▲7)	0
	岩手県	▲19	▲61	▲54	▲16	4	0 (▲4)	▲4
非製造業	全国	1	▲25	▲21	▲11	▲9	▲7 (▲12)	▲9
	岩手県	▲12	▲31	▲28	▲12	▲11	▲8 (▲25)	▲18
全産業	全国	▲4	▲31	▲28	▲15	▲8	▲3 (▲10)	▲5
	岩手県	▲15	▲43	▲38	▲14	▲4	▲5 (▲17)	▲12

以 上

本件に関する問い合わせ先：

日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代）

ホームページアドレス <https://www3.boj.or.jp/morioka/>

<ホームページ>

